

(様式)

令和2年度 剣道部の指導方針等について

令和2年7月15日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	野島 哲二	武田 康基	剣道教士八段	月2回程度
副顧問	斉藤 康貴	似内 ゆかり	剣道 五段	月2回程度
副顧問				

2 年間目標

- 1 学校経営方針にある「キャリア教育」の実践  
稽古だけでなく日々の学習を大切にする。特に家庭学習時間の確保を徹底する。
- 2 東京都代表として活躍  
関東大会出場を目指す。
- 3 社会人として必要な資質を身に付ける  
勝利至上ではなく、稽古・試合に取り組む姿勢を大切にして特に自他の生命を尊重にする。

3 指導方針

- 1 短時間で集中  
稽古時間は、平日2時間 休日2時間30分（準備体操・休憩含む）とし、集中して取り組むとともに、「考える・工夫する」ことを徹底する。
- 2 ON・OFFをしっかりと  
メリハリをつけて活動する。
- 3 TPOを考えての生活  
礼儀・言葉遣い・所作を普段の生活からしっかりと考え、他人に不快感を与えることのないようにする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
  - ・理論的な指導を中心にし、個々の稽古内容の必要性を理解させた上で展開する。
  - ・常に生徒・保護者からの声を大切にし、定期的に保護者会・生徒ミーティングを開き、情報交換に努める。
  - ・顧問、外部指導員との意思の疎通をはかり、体罰・暴言が絶対に無い指導を徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
  - ・いかなる場合でも「暴力による問題解決は存在しない」ことを日頃からの指導で徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
  - ・指導の中心は顧問であり、外部指導員はその補佐が中心であるという基本的な方針であることをもとに意思の疎通を図り指導を行う。
- (4) 事故防止
  - ・生徒の状況（体力・技術・心身のバランス）を把握して計画・指導実践する。
  - ・無理は絶対にせず、必要に応じて自発的に休憩等をするように伝える。